

令和 4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	SUWAデザインプロジェクト
事業主体 (連絡先)	諏訪市産業連携推進室 (諏訪市高島 1-22-30)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (オ その他)
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,782,650 円 (うち支援金 : 2,226,000 円)

事業内容

公立諏訪東京理科大学大学生や地域の若者等を対象に、複数のプロジェクトを実施した。

- ① 「SUWAサステナブルデザインプロジェクト」
～これからも存在し続けられるビジネスを考えよう～実施。(2022年9月22、23日)
- ② 公立諏訪東京理科大学が2年生全員(約300名)を対象に年度下半期に行っている「地域連携課題演習」との連携(2022年10月、12月)
- ③ 「SUWAデザインプロジェクト・セカンド」
学問的な切り口ではなく、地域の課題解決に向けたアイデアを、より「実践的に」創造するためのプロジェクトを実施(2023年月12、26日)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 「SUWAサステナブルデザインプロジェクト」では11名の大学生が参加。講師のレクチャーによる新たなビジネスモデルのアイデア創出を通じ、地域企業について学んだ。
- ② 公立諏訪東京理科大学「地域連携課題演習」と連携し、同大学2年生約300名を対象に諏訪市長及び地域内事業者による講義を実施し、諏訪ファンを創出した。
- ③ 「SUWAデザインプロジェクト“セカンド”」では大学生等17名が参加。実装的なビジネスモデルを創出するグループワークを通じ、地域課題について学んだ。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・大学生に地域の課題や企業を知ってもらい、新たなビジネスモデルを創出する内容は、大学生にとっては普段得られない学びとなり、地域にとっては関係人口増加の効果が得られた。
- ・次年度以降もその過程を通じ、大学生や若者が諏訪地域の企業を実際に見て、知って、発信する経験を積みながら、結果として「諏訪ファン」となるよう関係人口の拡大を目指す。
- ・今後、連携大学も芸術系及びデザイン系を視野に入れ、そこに地域の複数校にも参画を広げていき、多面的な交流の効果を見込む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



(公立諏訪東京理科大学にて)

【諏訪市長による講義】

【目標・ねらい】

- ① 大学生・若者が地域を学ぶ
- ② 大学生に地域企業の魅力を伝える(関係人口増加)
- ③ 大学生が実際の現場で学ぶ

※自己評価【B】

【理由】

- ・プロジェクトに参加する大学生の人数は見込通りだった。
- ・参画事業者数は見込みを下回ったが、グループワークを通じ個別には深く学ぶ効果が得られた。